



国際ロータリー第2750地区
東京多摩グリーンロータリークラブ

2023-2024 年度 会報

会員増強、親睦



2024. 05. 22 第1496回 例会 No. 36-32 2024. 06. 05 発行

【司会】 SAA・親睦委員会 萩生田 政由

◎開会点鐘 会長 福岡 均

◎ロータリーソング「それでこそロータリー」 斉唱
ソングリーダー 菊池 敏

◎四つのテスト SAA・親睦委員会 萩生田 政由

◎お客様紹介

東京都多摩市長 阿部 裕行 様

多摩市役所 企画政策部 秘書広報課長 豊田 桂太 様

岡山西南ロータリークラブ 椎原 裕二 様

◎会務報告 会長 福岡 均

・5/25～28、三田幹事と共にシンガポールの世界大会に行
ってまいります。

・5/29の例会は休会となります。

◎幹事報告 幹事 三田 みよ子

特にございませ

※ 他クラブ例会変更は事務局までお問い合わせ下さい。

◎次年度会務報告 会長エレクト 初野 有人

例会後に被選理事会がありますのでご参集ください。

【 委員会報告・その他 】

◎各委員会報告

・足立会員 (エージシュートについて)

先週金曜日に、東京国際ゴルフ倶楽部において昭和10年
から昭和29年までに生まれた方々のコンペで IN42・
OUT42 (グロス84) の結果となりました。私、昭和14年生
まれの85歳でございますので、エージシュートを達成し、

この度エージシューターとなりました。
これまでゴルフをやることができた環境や人間関係など
に感謝です。

◎出席報告 出席奨励委員会 伊澤 ケイ子

会員総数 19名 出席義務免除者 5名

出席者数 出席義務者 7名 免除者 3名

計 12名 出席率 12/19 62.5%

◎ニコニコBOX SAA・親睦委員会 峯岸 忠

福岡 均 阿部裕行市長 豊田桂太課長 本日は宜しく
お願いします

三田みよ子 阿部市長 本日はお忙しい中有難うございま
す 卓話宜しくお願いします

足立潤三郎 ゴルフのエージシュートを達成致しました
東京国際ゴルフ倶楽部

萩生田政由 阿部多摩市長様ようこそ
本日の卓話 楽しみです

初野 有人 阿部市長 お忙しい中ありがとうございます

伊澤ケイ子 多摩市長 阿部様 ようこそ!

菊池 敏 阿部市長 ようこそ

杉山 真一 阿部市長 卓話よろしく申し上げます

会長幹事行ってらっしゃい

峯岸 忠 阿部市長様 卓話よろしく申し上げます

足立さん エージシュートおめでとうございます

本日の合計 ￥19,000円 (累計569,953円)

【 卓話 】

◎卓話者紹介 プログラム委員会 副委員長

足立 潤三郎

本日の演題は阿部市長より「パワーアップ多摩の魅力」
でございます。我々歳を重ねると、だんだんパワーが
薄らいでいきますが、本日の卓話は大変楽しみでございます。

◎東京都多摩市 阿部 裕行 市長 卓話

演題：パワーアップ 多摩の魅力



私は市長4期目となり、多摩市政において色々な取り組みを行って参りますが、この間、新型コロナウイルスのときには皆様にご苦勞をお掛けしつつも、一方ではワクチン接種率がナンバーワン（東京23区・26市において）を走り続けていた自治体でもあり、皆様のご協力に感謝申し上げます。

さて、昨年12月に、大手町駅、新宿駅、武蔵小杉駅等々で多摩市における子育て施策をキーワードとして、「さてここは何処でしょう？」という広告を出しました。

鶴巻東公園、聖蹟桜ヶ丘の多摩川、多摩市立中央図書館、ブリリア多摩ニュータウンなどの写真を掲載した広告となります。

多摩市では戸建てやマンションの開発が進み、人口そのものが増加しています。また、75歳以上の団塊の世代の方から90代の方までが多くお住まいですが、90～100歳にて自然減の方もいらっしゃる、社会増とするためには毎年3,000人ほどの人口増加がなければ自然減を上回れない見通しですが、多摩市は頑張っています。

その中において、第六次多摩市総合計画を制定しました。その中で、「環境との共生」をテーマとして掲げ、マイクロプラスチック問題に取り組んでいます。

多摩市では国内初の取り組みとして、テニスコート人口芝のマイクロプラスチック流出抑制を目的とした実証実験を連携企業3社と共に実施しています。

更には、多摩市はサントリー株式会社と共に「ペットボトルの水平リサイクル」に取り組んでいます。

これまでは、使用済みペットボトルが様々な形態にリサイクルされていたのですが、その中でCO2を約60%削減することが可能となります。このためにはキャップやラベルを外したり、中身を濯いだりと綺麗なペットボトルの回収が必要になります。

これらに関連し、多摩市では中学生・高校生などを始めとした幅広い年齢層の市民に参加を賜り、昨年9月に「多摩市気候市民会議」の提案書をまとめました。

迫りくる2050年のCO2削減目標50%に向けた活動を強化していきます。

次に、「健幸まちづくりの推進」についてですが、体の健康だけでなく、ストレスを感じない幸せな気持ちや自己肯定感をもって生活することが大事です。

多摩市ではウォーキングによるポイント付与化などの事業を実現していきたいと思っております。私が市長としてやってきた一番の鍵として、多摩市においては高齢化率が29.4%ですが、働き盛りのベッドタウンから多様な世代が生き生きと暮らせる街へのモデルチェンジを目指しています。

幸いにも多摩市は健康寿命においては男性女性共にベスト5（東京23区・26市において）に入っており、つまり寝たきり率が非常に低い街です。それに伴い介護保険料が行政区で下から2番目となる5,000円台と大変安い（東京都平均6,256円）状況です。これはすなわち日頃歩いていた、活動していたりする市民の方が多いことが介護保険料の低額に繋がっています。

また、現在は多摩市の歯科医師会と共に歯の健康が大事であることから、口腔ケア条例を作ろうということになり、既に原案が策定できています。健康実現のためには、栄養

（食事・口腔ケア）運動を含めた身体活動、社会参加と人と人のつながり、休息、などに関する健康的な生活習慣を獲得することが必要です。その中でも特に口腔ケアの分野の輪を拡げていきたいと考えています。そして、私がこれまでに地域包括ケアとして取り組んできていますが、加齢、障害、疾病に伴う心身機能低下などの際に適切な支援（医療・介護・生活支援等）を受けられることも必要です。

多摩市においては、健幸まちづくりの3STEPとして、まずは（STEP1）自分自身を大切にし、自分自身を健幸にする。さらに（STEP2）家族や友人など周りの人を健幸にする。余力があれば（STEP3）健幸まちづくり事業を企画・実施する。を掲げています。

これらのために、各医療機関相互の連携体制強化を進めており、今後、国や東京都とも連携しながら進めていきたいと思っております。

3つ目として、「活力・にぎわいの創出」を進めており、昨年7月には多摩中央公園内に、多摩市立中央図書館がOPENしました。これまでに驚くほどの人にお越しいただき、カフェも含めて既に80万人近くの方が来館され、今年の9月には100万人を突破するのではないかと考えられます。これまでの多摩市の中央図書館は年間12万人ほどの来館でしたので、その10倍ほどの人にお越しいただいています。

本図書館は、おしゃべりも読書も楽しめる「広場系開架」と、静かな環境で読書を楽しめる「静寂系開架」の2つのコンセプトを有しており、さらには収蔵可能冊数も約60万点となっています。週末には沢山の子供たちで賑わってい



ますが、中には若いカップルがデートに利用してくれたりもするので、将来は多摩市にお住まいいただけると嬉しいなとも思います。

また、都内で唯一の「ZEB Ready 施設」となり、再生可能エネルギー等の導入により、約60%のエネルギー消費量を削減しています。

多摩中央公園においては、この中央図書館の他、昨年10月にOPENした「大池前テラス・BOOKパーク」や、今年7月には「きらめき広場」も完成予定です。更には来年4月には、様々な施設が完成の予定となります。子供を始め、多世代の人たちに親しまれる公園にしていきたいと思います。

さて、先日の5月3日・4日・5日と「こどもまつり2024」が開催され、天候にも恵まれ、大勢の皆様が多摩センターにいられました。

また、4月7日には聖蹟桜ヶ丘で「さくら祭り」が開催され、この日も大勢の方がいらっしゃいました。それから多摩センターにおいては、「まちづかい社会実験」にてこの間に色々な実験をして参りました。その実験の一例として、「グリーンスローモビリティでちょっと特別な移動を」、「屋根の下で過ごせる空間づくり」、「キックボード体験会」などがありました。

他にも「聖蹟桜ヶ丘かわまちづくり」の取り組みを進めており、地域の自治体、商店会、事業者等で構成される「聖蹟桜ヶ丘かわまちづくり協議会」の設立によりまちの魅力を高めていくための検討や社会実験（イベントの実施等）を進めるとともに、エリアマネジメント法人（一般社団法人聖蹟桜ヶ丘エリアマネジメント）が発足しました。そして聖蹟桜ヶ丘駅周辺エリアを対象とし、多摩川河川敷をはじめとする公共空間の活用や、地域の情報発信、コミュニティの場作り等に取り組んでいます。

また、今日はお手元に「セイセキZINE」の最新号をお配りしています。これは、京王電鉄株式会社と情報誌「BALL」を発刊する株式会社けやき出版が共同で、聖蹟桜ヶ丘の魅力を取材・発信し、地域の価値創造を目指す取り組みのひとつとして発刊する市民参加型のローカルマガジンです。私も毎回読んでいますが、なかなか面白い特集が組まれていると思います。

さて、忘れずにお話しておきたいのは、昨年12月に「東京ヴェルディ」がJ1に昇格して、今、果敢にチャレンジして戦っております。もうそう簡単にはJ2には降格しないと思っていますので、J1にて引き続き東京ヴェルディを応援していきたいと思っています。

最後に「こどもまんなか」です。

最初に申し上げたいのが、多摩市もこの4月から小中学校の給食無償化に踏み切らせていただきました。

また、東京26市では初の試みとなる「多摩市こども誰でも通園事業」を実施しており、これは、働いていなくてもお子様を保育園や幼稚園に預け入れることができる制度で、この4月からスタートしています。多摩市は国と連携しながら、やれることは精一杯やっつけよう取り組んでいます。

それから、多摩市の小学生にはそれぞれ学童クラブの制度がありますが、「放課後こども教室」を始めます。

これは、放課後に学校施設で子供たちが安全・安心に遊べる広場であり、児童が自由に来て遊びと学びを行うことができる居場所です。

既に、貝取小学校と連光寺小学校でスタートしていますが、いずれは市内全校に普及させたいと思います。

それから、不登校の子供たちが安心して学校生活を送ることができるよう、東愛宕中学校内に設置の「チャレンジクラスあごSpace」がスタートし、既に十数名の子供たちが楽しく学んでいます。

そのことによって、子供たちの「登校日数が増える」「学習内容が定着できる」そして「学校・相談機関とのつながりの構築」などを含め、今動き出しています。

ということで、今日は色々な施策の内、重要な部分、今私に取り組んでいるところの一部を紹介させていただきました。

最後に、多摩市「たくさんの緑に囲まれ まちを歩けば しあわせに出会えるまち」ということで、引き続き皆様方のご支援・ご声援をいただきながら前へ進めていきたいと思います。



◎お礼と閉会点鐘

会長 福岡 均

阿部市長、本日は誠にありがとうございました。環境についても、市民の健康についても、施設・図書館など、まちづくりの意識を持って私たちひとりひとりが活動していくことが、東京多摩グリーンロータリークラブとしての地域社会奉仕に繋がるのではないかと感じましたので、地道ではございますが、今後とも引き続き例会を着実にやっていきたいと思います。皆様ご協力のほどよろしく願いいたします。



(今週の担当：守田 亭)

※福岡会長・三田幹事、

シンガポール国際大会出席報告

【福岡 会長】

初めての海外旅行がシンガポール。素晴らしい国でしたがその感想は日本を疑似化した街。道路もショッピングモールも居る人種もサービスも、全てが今の日本のミニチュア国のように感じたのが正直な思いです。また国際大会は何百ヶ国のロータリアンが終結した刺激と熱気に満ちた素晴らしいものでした。改めて日本の良さを再認識し、暫くは海外旅行以上に国内旅行で思い出作りに励もうと思っています。どちらにしても最高に楽しい仲間との最高の初海外旅行の思い出が作れてよかったです。

【三田 幹事】

たまがわRC 相馬ガバナー補佐をはじめ、会長・幹事・会員3名にすべておまかせで、大変お世話になりながら福岡会長と行ってまいりました。

大会は大変な人数でしたが、ロータリーの真髄に触れ、とても感動いたしました。他国のロータリアンとの交流はなかなか難しかったです。

シンガポールは蒸し暑かったですが、とても綺麗なまちでした。日本企業の進出が目立ちましたが、価格は日本の3倍でした。

